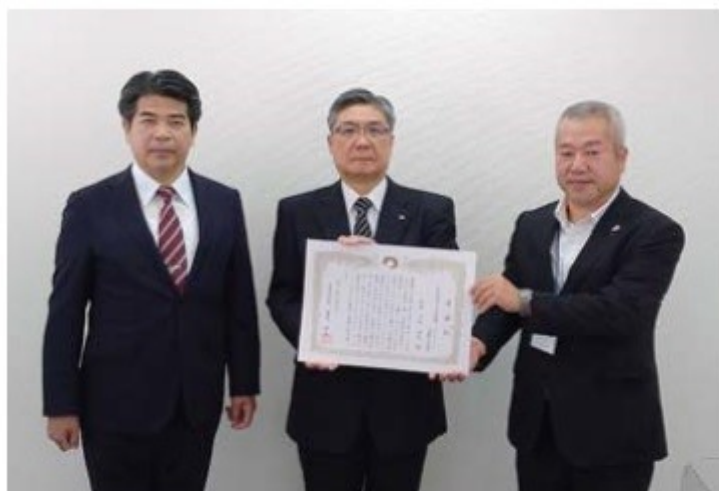


令和2年7月豪雨で熊本県



熊本県は8月30日、「令和2年7月豪雨」に伴う膨大な堆積土砂の撤去に尽力した日本補償コンサルタン卜復興支援協会（川畑清夫会長）に対し、知事感謝状を授与した。同豪雨では2020年7月下旬に熊本県管理河川で大量の土砂や流木

補償コン復興支援協に感謝状

が流出。同協会は発災直後から被災者の迅速な生活再建に向けた支援活動を組み組んだ。

特に甚大な被害を受けた人吉市、芦北町、球磨村からの要請を受けて実施した国土交通省所管補助事業の「堆積土砂排除事業の支援業務」では、8月から11月にかけて、被災者からの申請受付支援や現地調査、土砂撤去費算定、撤去進捗管理などに当たった。

感謝状は、県土木部の宮原哲哉道路都市局長から、協会の原田卓九州地区担当理事（九州開発エンジニアリング）、家村隆熊本県代表会員（九州不動産鑑定所）に手渡された写真。協会が国交省所管補助事業で感謝状を授与されるのは今回が初となる。